

平成25年度 事業計画

基本方針

我が国は本格的な高齢社会を迎え、本市も高齢化が進んでいる状況にあります。当シルバー人材センターにおいても、若年の会員の加入が少なく、会員の平均年齢は71歳と高齢化が進んでいます。会員が減少する中で、一人でも多くの高齢者が福祉の受け手ではなく、社会の担い手として、これまで培った知識と経験を活かし、シルバー事業の目的でもある健康で生きがいの充実と福祉の増進は喫緊の課題であり、シルバー事業が果たす役割はますます重要になっているところです。

当シルバー人材センターは、本年4月1日より、「公益社団法人」として再出発することとなりますが、シルバーを取り巻く環境は、60歳定年の引き上げや継続雇用制度の導入などによる会員の減少と国の事業仕分けによる補助金の削減、長引く経済的不況による受注の減少及び当センターの主力でもある剪定班の班及び会員の減少は、今後の事業運営に支障を来すことが懸念される状況下にあります。

このような状況の中、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、これまで以上に会員と役職員が一丸となり、就業機会の開拓や会員の拡大を図り、地域社会から信用と信頼と地域社会に貢献するシルバー人材センターとして、存在価値を示せるように努めてまいります。

以上の「基本方針」のもと、当シルバー人材センターの今年度における具体的な努力目標を次のとおり計画します。

1. 就業機会と就業開拓

地域社会にシルバー事業の周知を図るため、会報の発行、パンフレットの配布、市役所前庭の除草と剪定等の会員有志によるボランティア活動や10月のシルバー事業普及啓発月間中の街頭啓発を実施し、シルバー事業の社会的意義を広くPRするとともに、鳥取県シルバー人材センター連合会の就業開拓員を活用していくこととします。

また、本年度も昨年に引き続きシルバー事業の内容等を示したチラシを市報の折り込みを活用し、広く市民の皆様にシルバー事業を周知するとともに情報等を開示に努めていくとともに、チラシの内容について、一部見直しを行う。

当シルバーの新規就業開拓に向けた対策として、ここ数年続いている業務量の減少の

歯止め対策として、鳥取県シルバー人材センター連合会主催の造園及び内装等の講習会を当市で開催していただくほか、当シルバー単独での剪定の講習会も開催し若年会員確保に努めます。機能強化推進事業として、境港市が取り組んでいる伯州綿栽培事業の一部を企画提案方式事業による当センターでの運営ができるよう市との協議を進める。

2. 会員の拡大

- (1) 入会説明会をこれまで毎月1回（第3木曜日午後1時30分より）実施していましたが、平成25年度から、随時開催とし入会を希望される方の日時に併せて開催し、新規会員の拡大を積極的に進める。
- (2) ホームページ、折り込みチラシ、広報紙、街頭キャンペーン等で会員及び役職員による入会活動を推進します。
- (3) 職員、役職員だけでなく会員各々の新規会員の勧誘への協力をお願いします。

3. 安全・適正就業の確立

事業の実施にあたっては、安全・適正就業が基本です。一人でも多くの会員に就業を提供するための「適正就業」に努めるとともに、事故を起こさない細心の注意を一人ひとりの会員に自覚して貰うため「安全・適正就業」を推進します。

また、事故を未然に防止するために、次の活動に取り組みます。

- (1) 鳥取県シルバー人材センター連合会の専門家の指導を受け「安全パトロール」を実施する。
- (2) 当シルバー独自の「安全パトロール」の回数を増やして実施する。
- (3) 「安全就業に関する標語」を募集し、スローガンとする。

4. 組織の充実

会員のための会員の組織であることを再確認し、組織活性化にむけた取組みを行う。

- (1) 理事会で責任と分担を確立し、活発な活動が出来るよう組織運営の充実を図ります。
- (2) 会員の高齢化が進み世代交代が図られていないことから、地域班、職群班の班長の若返りを図ることとする。
- (3) 職群班及び地域班の「班長会」は随時開催し、事務局と会員との関係を密にする。

5. 講習会の推進

高齢者の会員で組織し就業する団体として、将来にわたり地域に貢献できるよう技

能や安全意識を高め、かつ、後継者の確保に努めるとともに会員の技能の習得向上を図るため、公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会主催のシニアワークプログラム地域事業の一環として、「造園アシスタント講習」と「室内装飾アシスタント講習」を境港会場で開催していただくほか、当センター独自の剪定講習、障子・襖等の張替講習の短期講習会を開催する。

6. 事業功労者等表彰

当センターの事業に貢献された事業運営関係者及び発注者に「感謝状」を、役職員及び会員に「表彰状」を定時総会において贈呈する。

7. 配分金の見直し

現行の配分金については、公益法人移行に併せて見直しを図るよう検討してまいりました。多くの会員から意見をいただきましたが、公益法人移行に併せて事務費を6%から7%にアップすることもあり、継続して検討していくこととします。

8. アンケート調査

昨年度から実施しました当シルバーの利用者に対するアンケート調査を本年度も引き続き行います。この調査の目的は、これまで利用者から苦情やご意見を毎年受けてきておりますが、当シルバーの「信用」と「信頼」を得るためにも、利用者からの苦情も含め、ご意見、ご要望を聞き、会員の皆様にも会報等で情報を開示し今後の当シルバー人材センターの事業運営に生かしていくこととする。